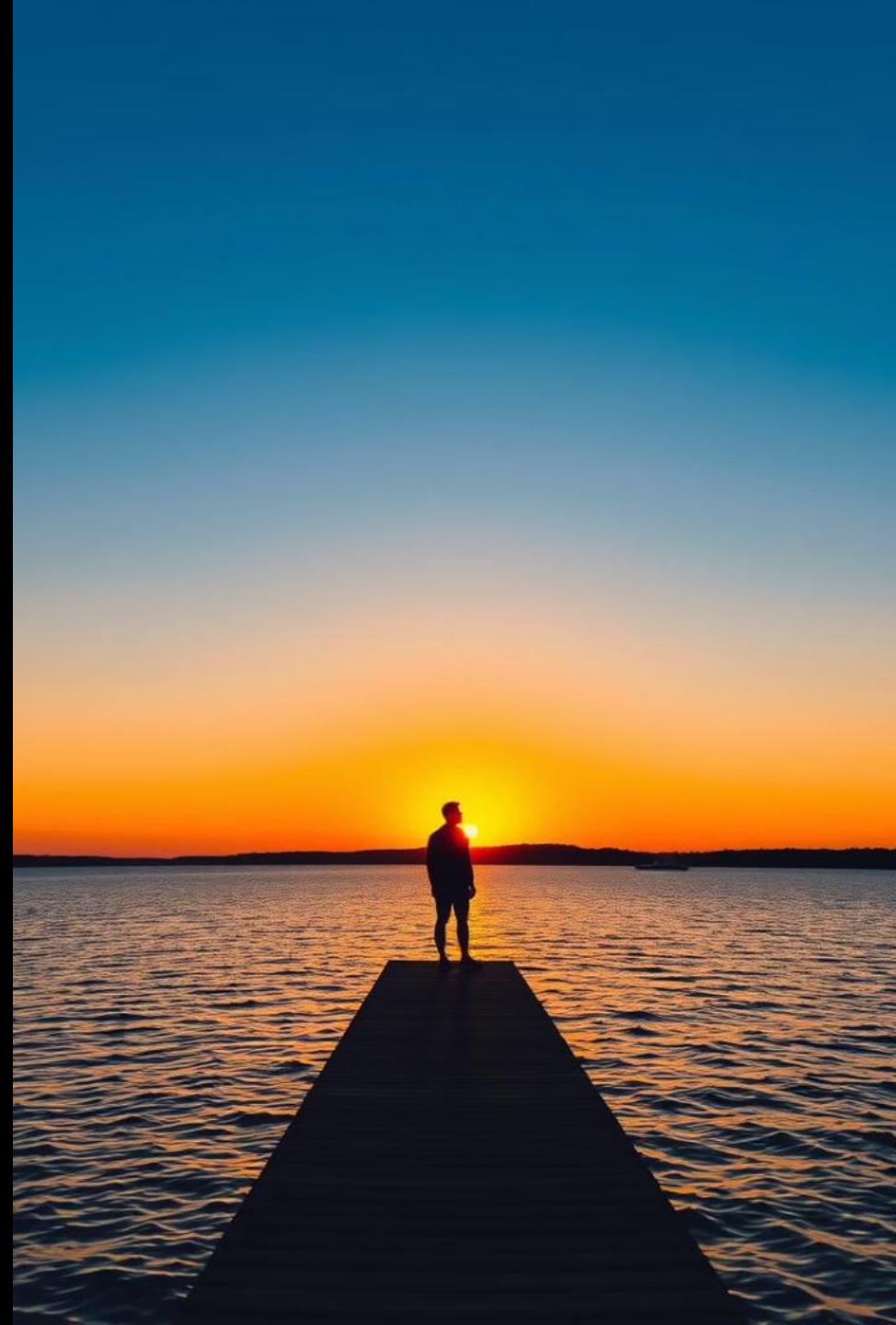


知的障害や発達障害がある人の性 にまつわる行動問題に関する研究

愛媛大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻
特別支援教育コース 山下 茜



I. 問題と目的

問題

教育システムの制約

教師の知識不足

性教育カリキュラムの不足

性教育に対する社会的タブー

教師の知識の世代間の差

社会的・文化的障壁

知的・発達の課題

社会的領域等の発達

の未熟さ

性的成熟の理解の秩序

ストレスによる非行

被害者と加害者の重複

ストレスと非行の サイクル

性的虐待リスク

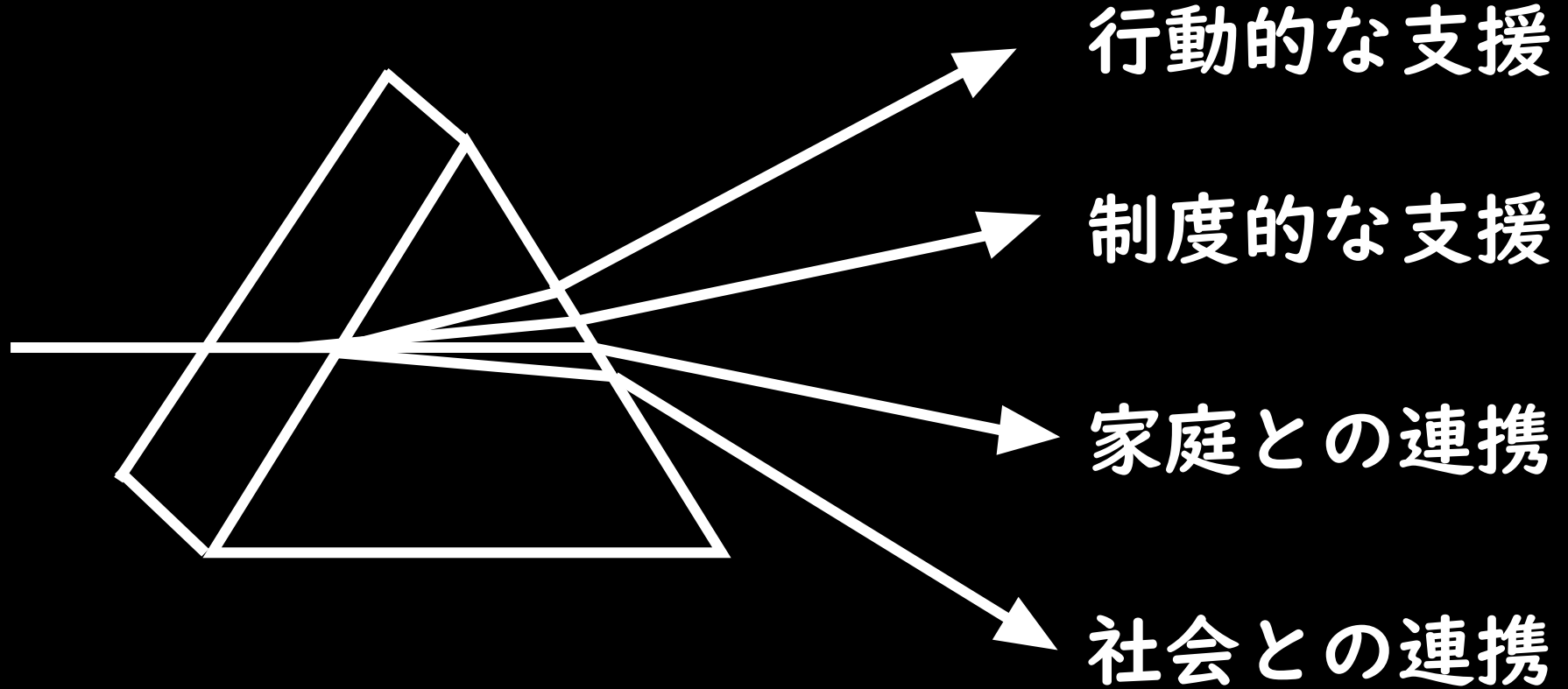
- ・ 性犯罪被害
- ・ 性的搾取

性の健康問題

目的

知的障害や発達障害のある人に必要な
性教育の在り方を明らかにする

性の問題の予防
性の健康増進



行動的な支援

制度的な支援

家庭との連携

社会との連携

II. 方法

対象

障害者の性の問題への支援を行っている
2つの団体の支援者8名

(すべて当事者，親，教育関係者の立場
でもあった)

期間

2024年9月～2024年12月

手続き

(1) 半構造化インタビュー

- ア 面談 (当事者1名)
- イ 電話 (当事者1名)
- ウ オンライン (教育関係者1名)

(2) 支援者によるディスカッション

(当事者2名，親1名，教育関係者2名)

倫理配慮

愛媛大学教育学部研究倫理委員会の
承認を得た (承認番号：R6-59)。

分析方法

逐語録を作成後、KH Coder3.Beta.03iを使用した。

共起ネットワーク図

語の出現パターンや関係性を見た。サブグラフは頻出語の共起関係とKWICコンコーダンスで確認された内容に基づき筆者がラベリングした。

性教育の現状

今

言う

語られた内容の分析

ローデータを質的帰納的に分類し、コード化、カテゴリ化を行った。このコード、6つのサブカテゴリを作成した。さらに抽象化を行い3つのカテゴリを作成した。

III. 結果

面談によるインタビュー

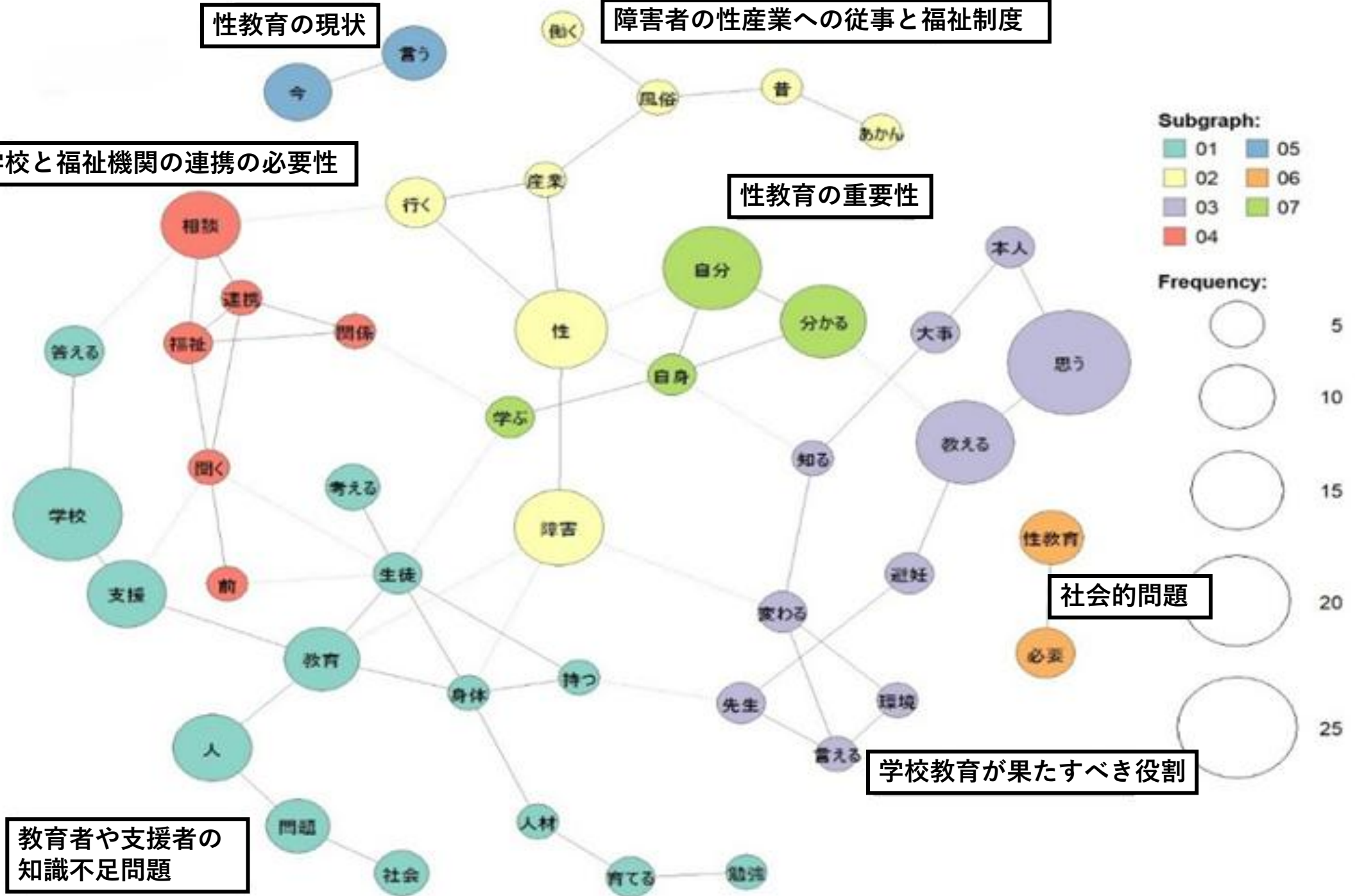
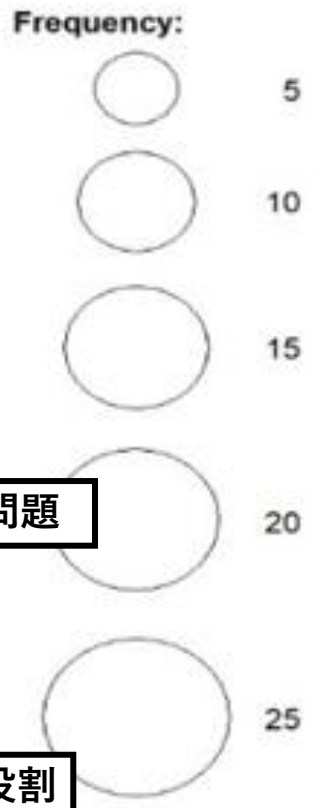
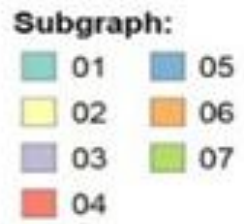
(当事者1名)

性教育の現状

障害者の性産業への従事と福祉制度

学校と福祉機関の連携の必要性

性教育の重要性



教育者や支援者の知識不足問題

学校教育が果たすべき役割

社会的問題

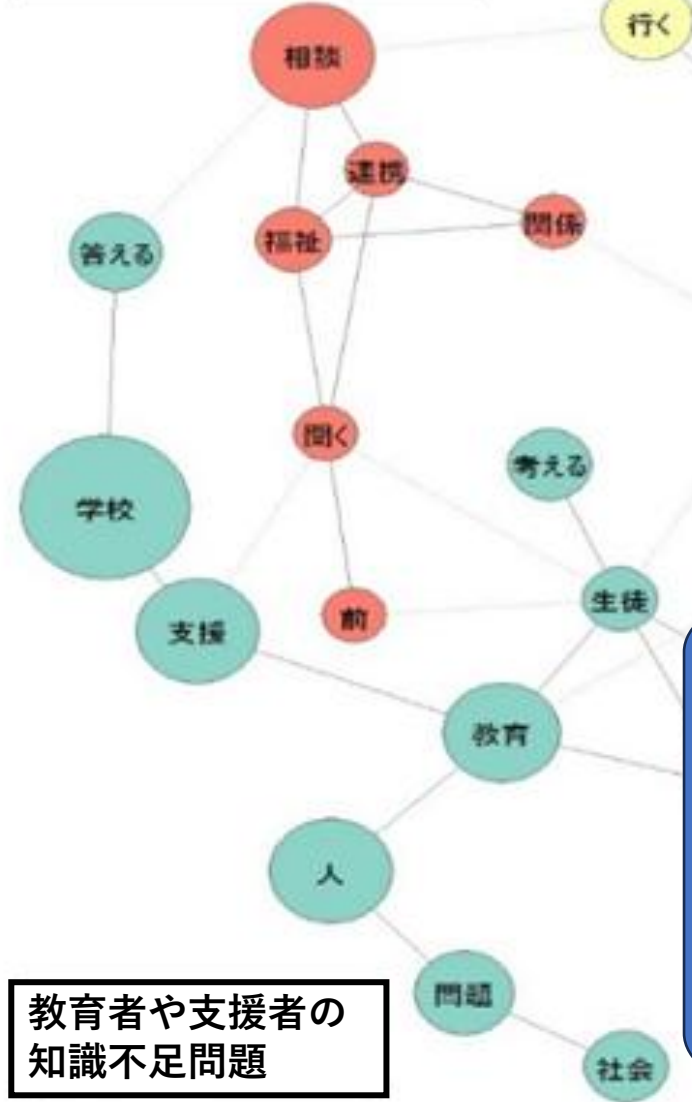
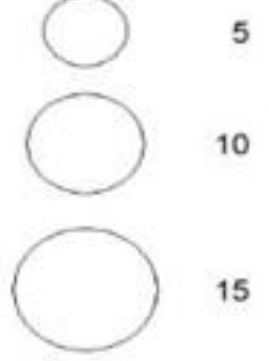
性教育の現状

障害者の性産業への関与

「避妊の仕方を教えてもらった
かったんですよ。避妊の仕方を
教えてもらったのは（卒業して
から）数十年後です。誰が教える
ことなの。避妊はどうするの、
先生。」

学校と福祉機関の連携の必要性

性教育の

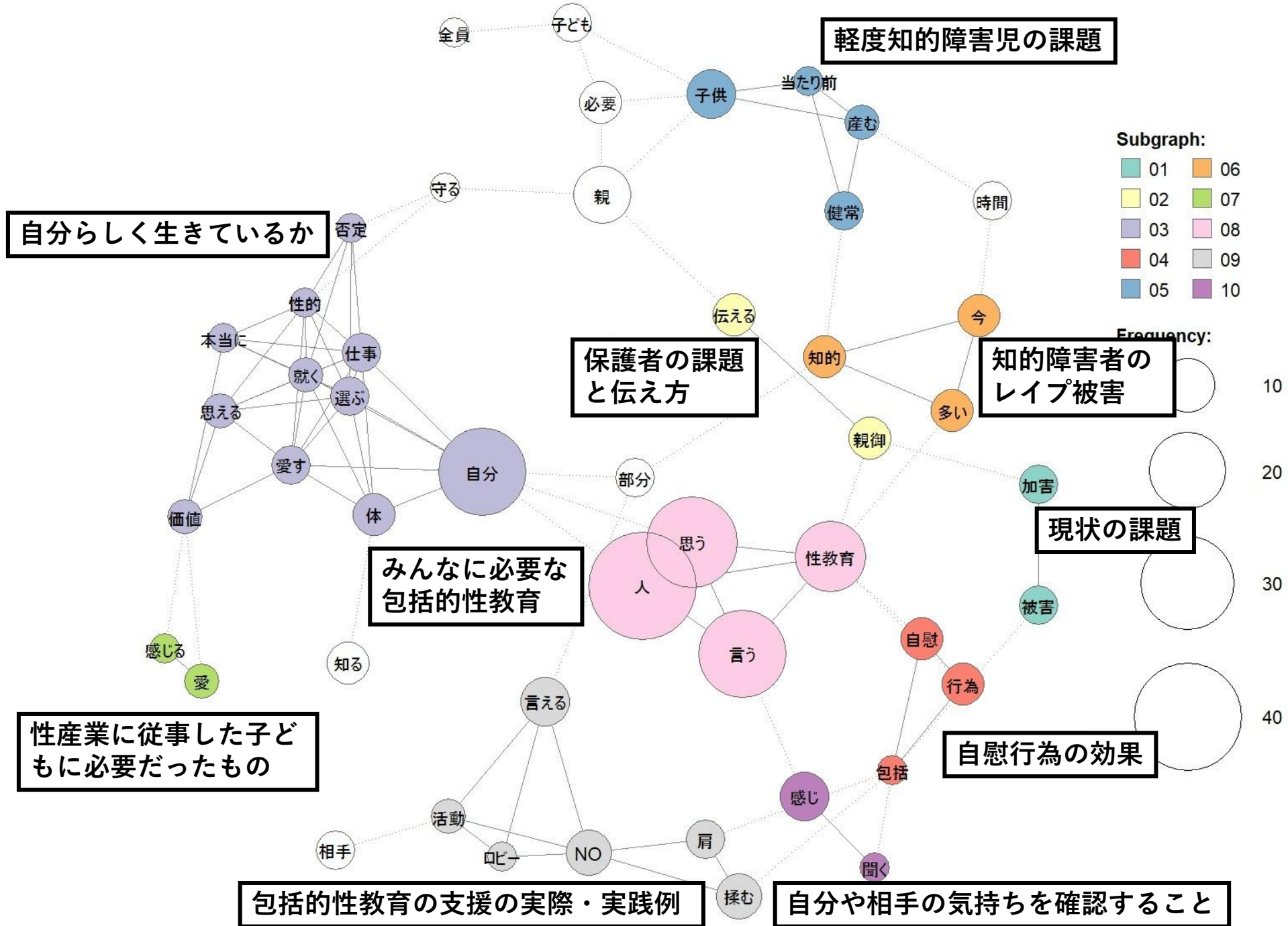


教育者や支援者の
知識不足問題

「学校教育で性教育をちゃんと教えてあげる必要がある。例えば、セックスとは分かりませんよね、ちゃんと教えないと。セックスとか自己防衛をする方法とかちゃんと教えてあげるべきなんですよ。それを分かるかどうかというのは障害の程度で異なるから、理解できて分かったのかどうかというのを一人一人に確認しなければならない。」

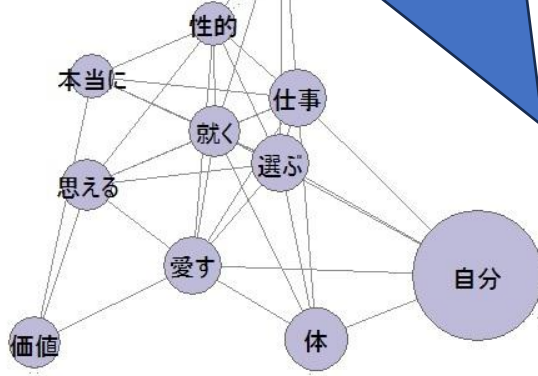
電話によるインタビュー

(当事者1名)



「もちろん被害者や加害者にならないためでもあるんですけど、幸せになる準備をしてほしいなと思っています。」

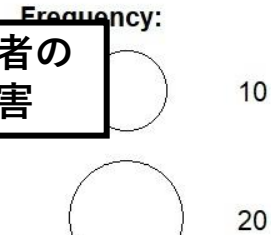
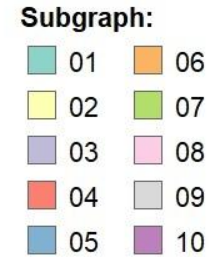
自分らしく生きているか



軽度知的障害児の課題

保護者の課題と伝え方

知的障害者のレイプ被害



「知的障害の女性はレイプにあうことが多いので、それに遭わないようにする環境づくりの性教育をすべきだと思っています。」

「また、自分の体を体感すること、自分の部屋では十分に自慰行為をしてもいいみたいなことや、子どもを産むときは50万円かかるけど、こんなサポート制度があるよとか、パニックにならず心の準備ができるように具体的なことを言っておいてもらえたら。そんな性教育を行ってほしい。」

「あなたには常に価値があって、あなたが選べるんだよとか、あなたがどんな人が、どういう行動をとる相手が好きなのかとか、こっちが選ぶ権利があるんだよとか」

「ほんまにそれを喜んで選んでいるのか、自分のままでわからんて言えたり、自分のままで居れることが素敵でしょって思
えてるのかどうか。あとは相談できる相
手がいるのかどうか。」

「自分のことを愛せるように、まずは私はあんたのことを愛してるよとか、何やろうが何しようが私はここにおるよって伝え続けるとか、それはなぜか、それはあなたが好きやからねっていう、そのことを伝え続ける人がいるかいなかとか。」

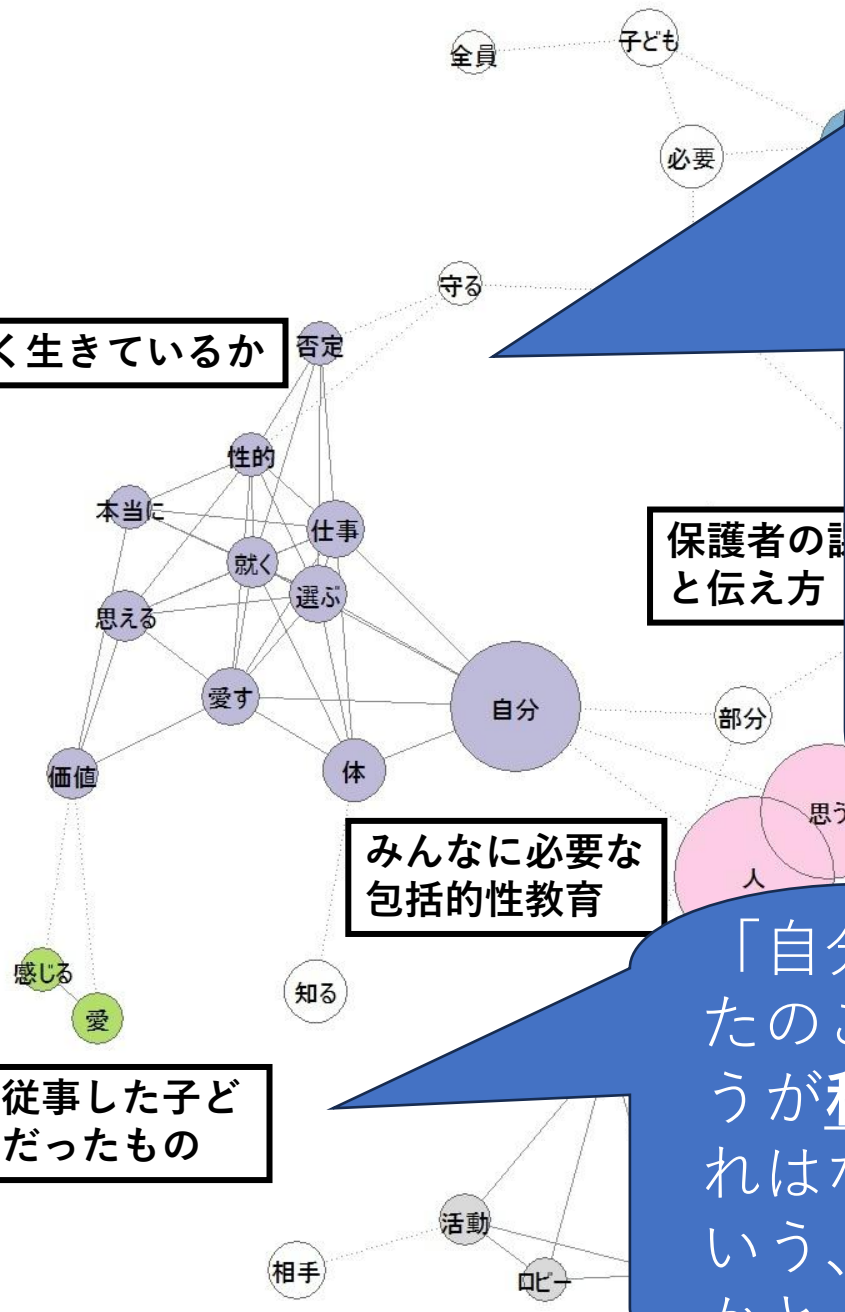
自分らしく生きているか

保護者の言
と伝え方

みんなに必要な
包括的性教育

性産業に従事した子ども
にも必要だったもの

包括的性教育の支援の実際



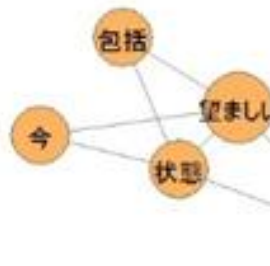
オンラインによるインタビュー

(教育関係者1名)

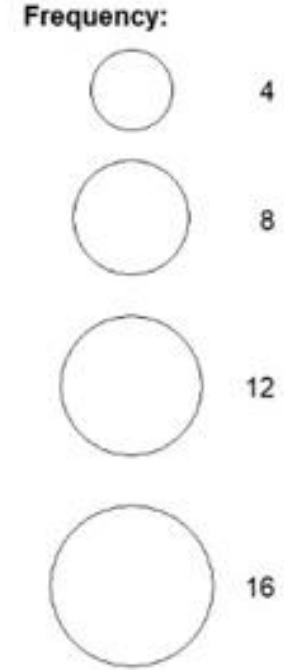
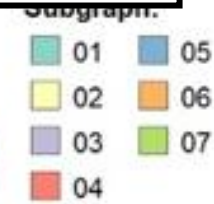
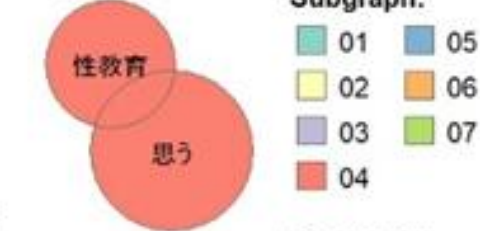
自己選択・自己決定



学校教育の課題



性教育のできない学校・教師への批判



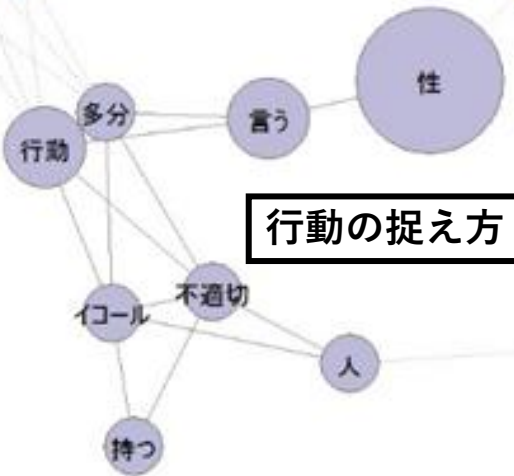
早期からの性教育を



構造的な問題



行動の捉え方



学校の責任で包括的性教育を行うべき



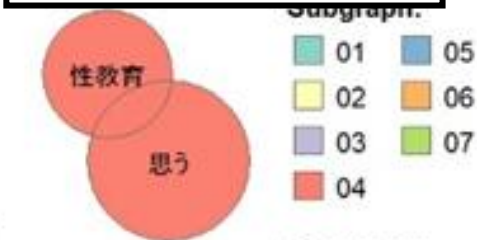
自己選択・自己決定



学校教育の課題

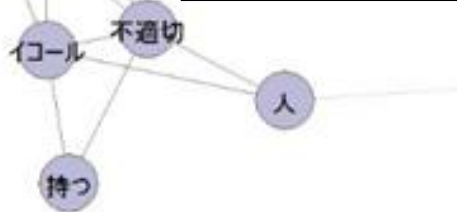


性教育のできない学校・教師への批判

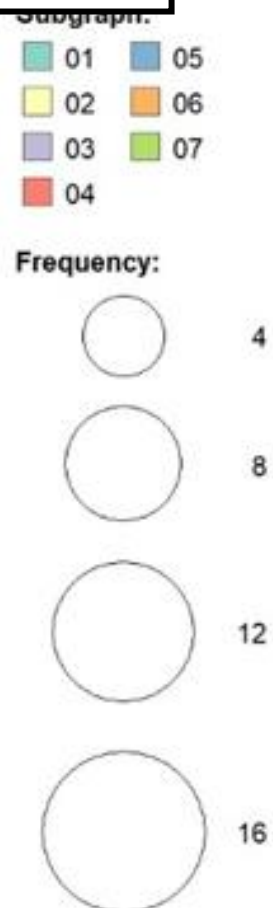
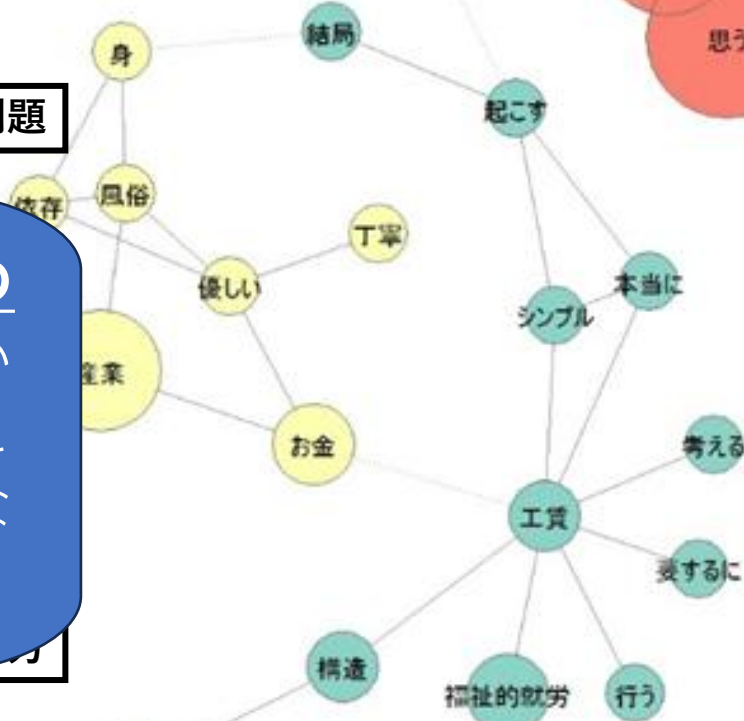


早期からの性教育が構造的な問題

「自分の体は自分だけの大切なものなので、どういうふうにするかというのは自分で責任を持って決めることだよ、というのをちゃんと学ばなきゃいけないわけですよ。」



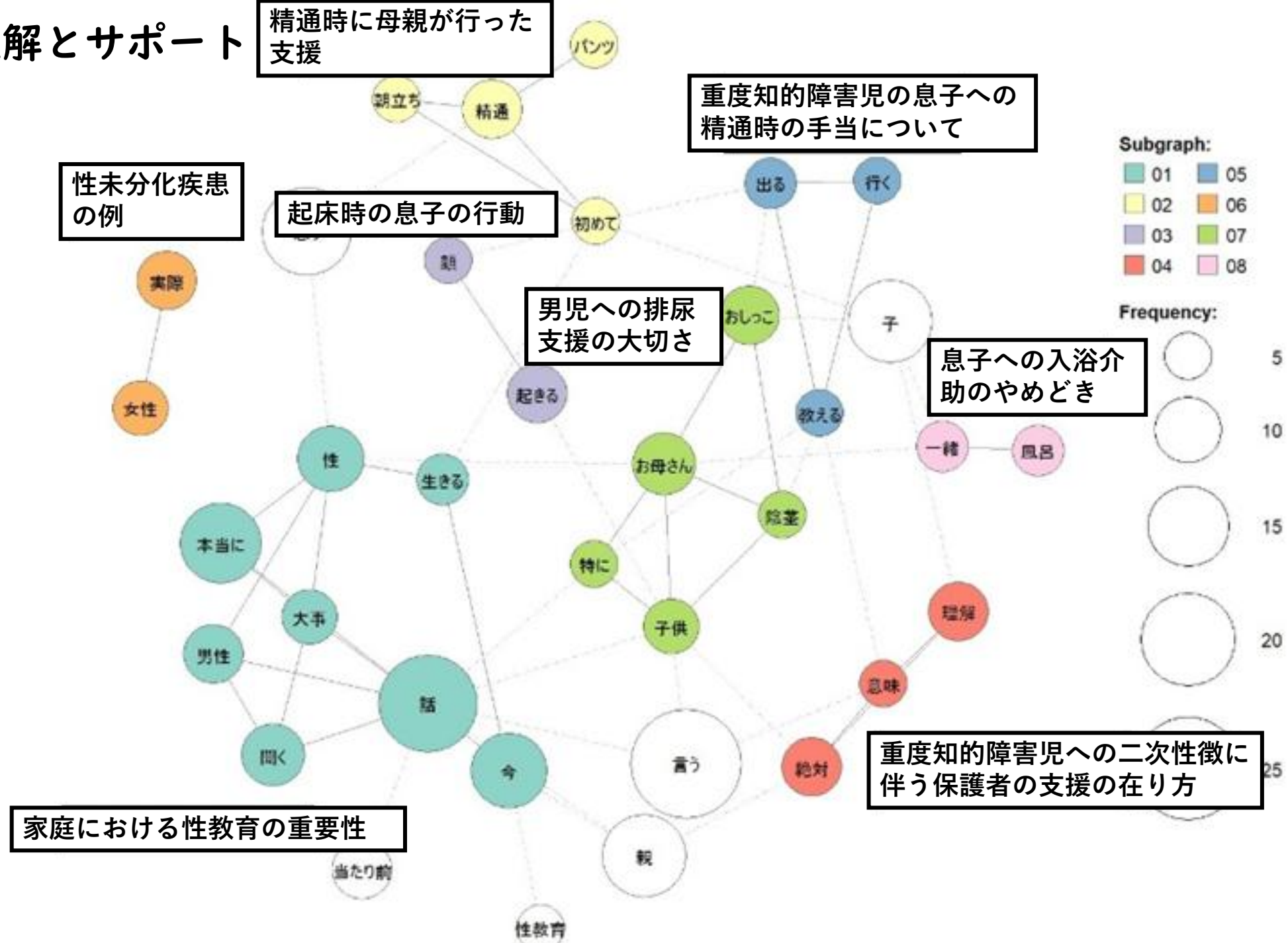
学校の責任で包括的性教育を行うべき



支援者によるディスカッション

(当事者2名, 親1名, 教育関係者2名 計5名)

ア 親の理解とサポート



ア 親の理解とサポート

性未分化疾患の例

精通時に母親が行った支援

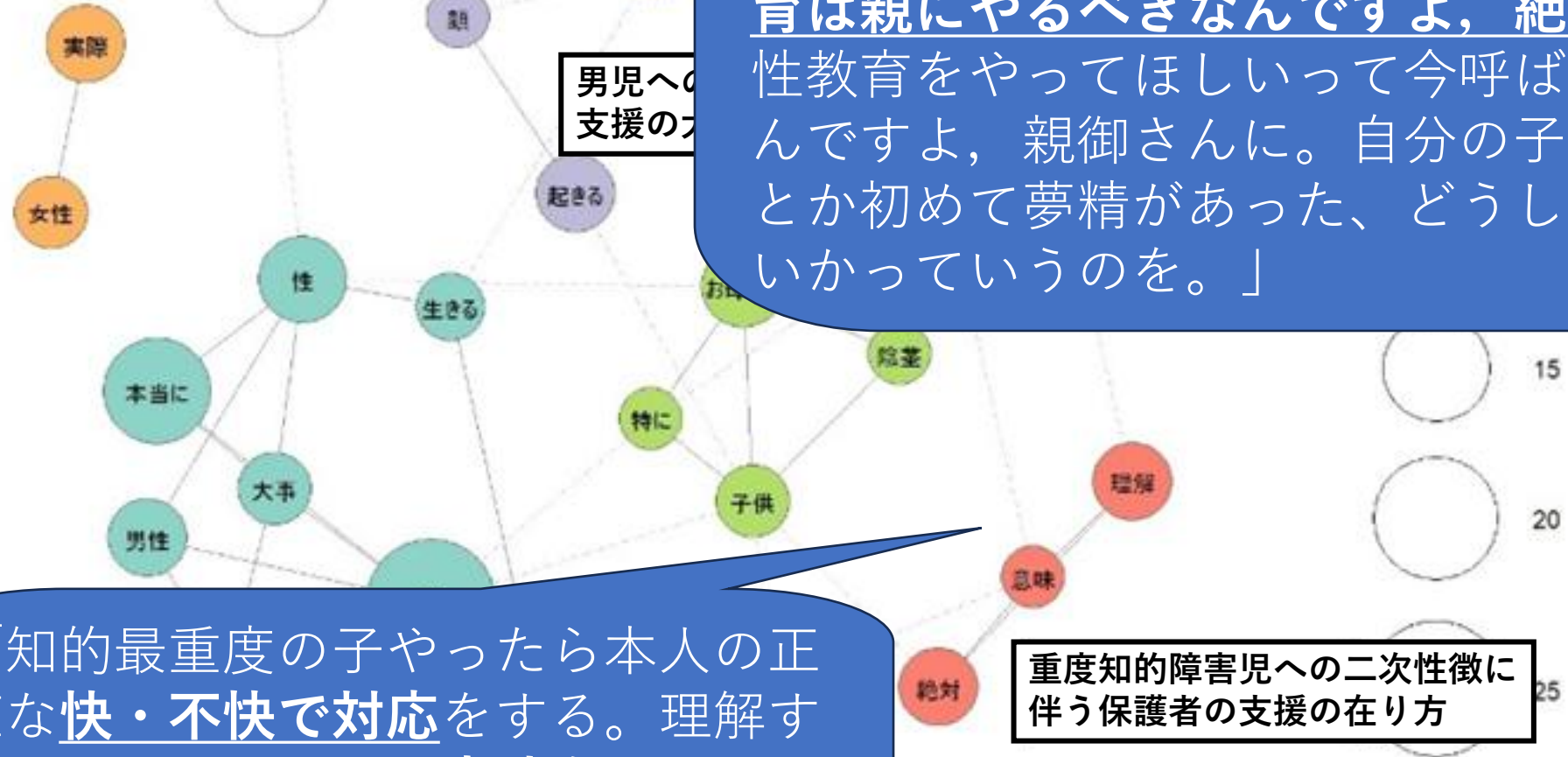
起床時の息子の行動

男児への支援の

重度知的障害児への二次性徴に伴う保護者の支援の在り方

「親が見ないふりをしていても体はそのまま普通の青年になっていくからそのギャップだと思いますね。当事者の親としては、だから言い切ってしまうと**性教育は親にやるべきなんですよ、絶対。**私、性教育をやってほしいって今呼ばれてるんですよ、親御さんに。自分の子が精通とか初めて夢精があった、どうしたらいいかっていうのを。」

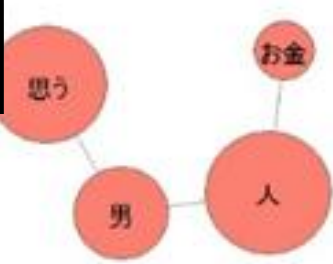
「知的最重度の子やったら本人の正直な**快・不快で対応**をする。理解する子やったらそれに**意味をつけて**いけば、もっと理解する。」



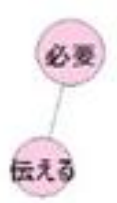
イ 性教育と 尊厳の重要性

障害のある男友達の気持ちの理解

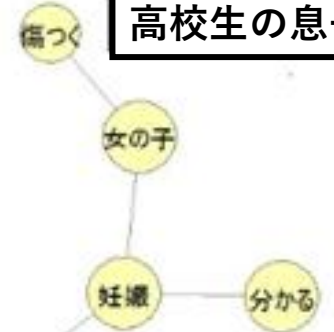
性の学びを抑制する文化



大切な存在だと伝えること



高校生の息子への性教育



Subgraph:

01	05
02	06
03	07
	08

お母さんへの助言

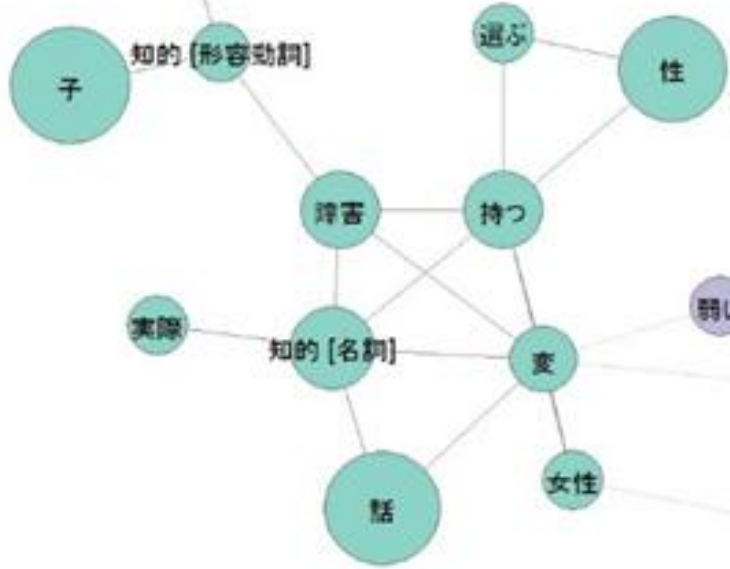


Frequency:

間違った性教育



家庭内におけるジェンダーギャップ



支配性を映し出す
アダルトコンテンツ



ウ 性教育と 家族支援

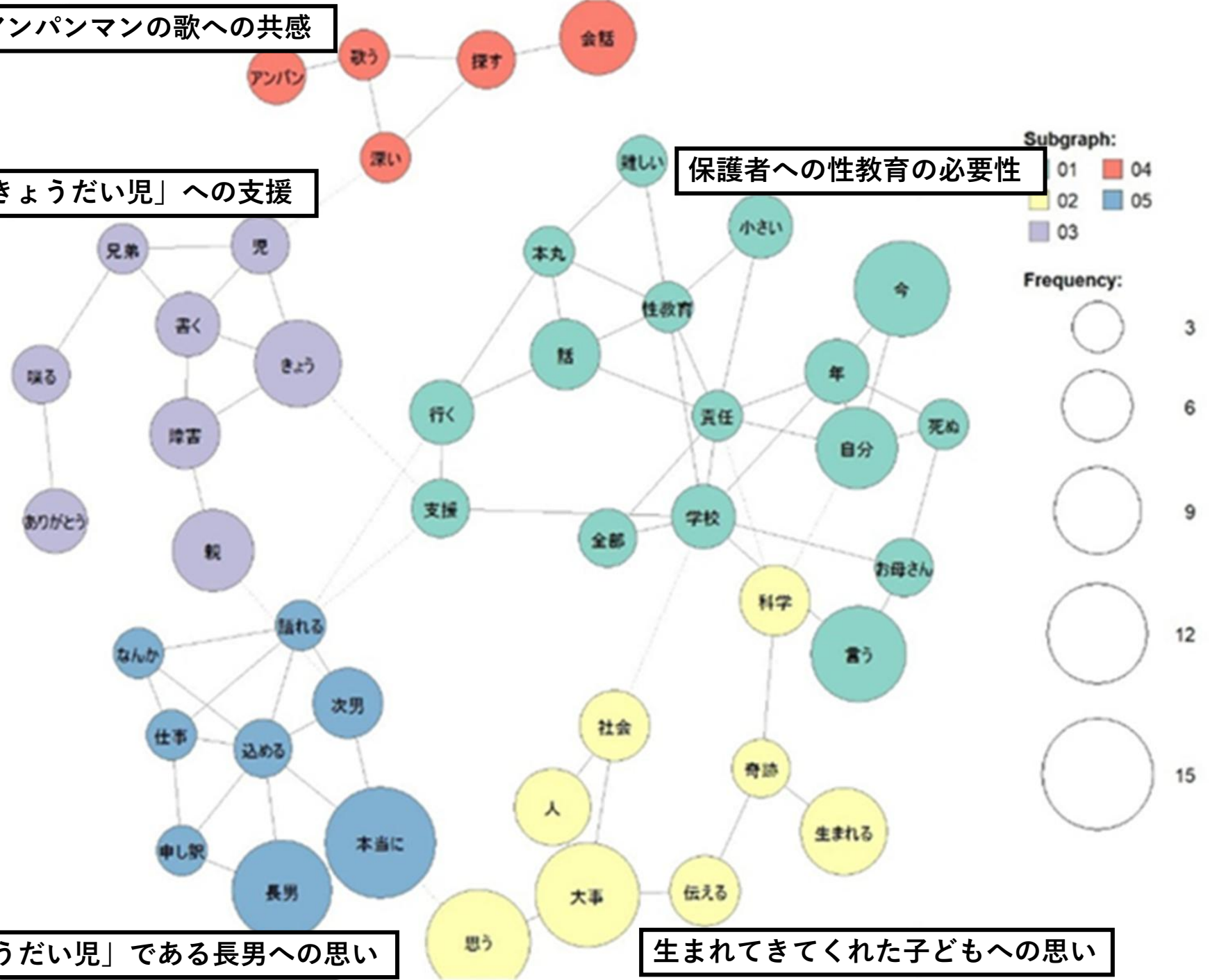
アンパンマンの歌への共感

「きょうだい児」への支援

保護者への性教育の必要性

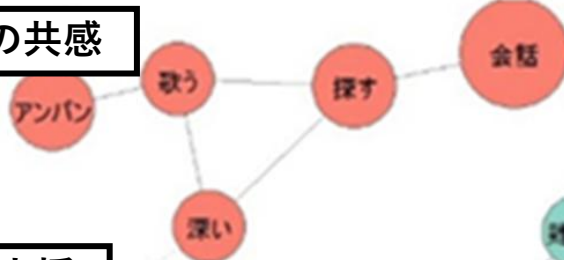
親として「きょうだい児」である長男への思い

生まれてきてくれた子どもへの思い



ウ 性教育と 家族支援

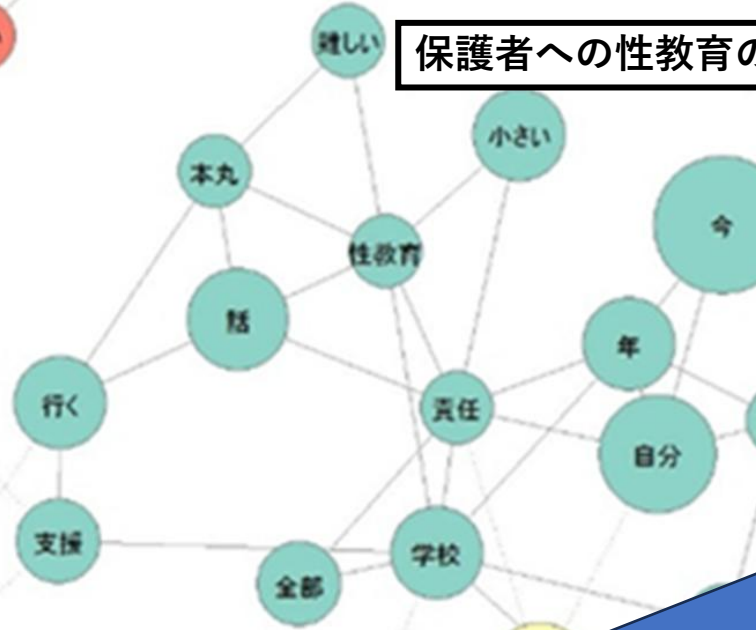
アンパンマンの歌への共感



「きょうだい児」への支援



保護者への性教育の

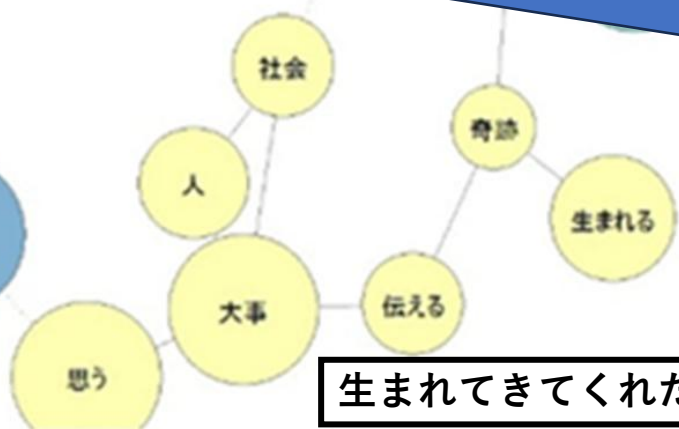


「障害のある子って、
いろんなサービス
整っとるから、なん
だったらプロに任せ
ればいい。お母さん
にしかできないこ
とってというのがいっ
ぱいあって、本当は
それは「きょうだい
児」にも向くべきな
んですよ。」

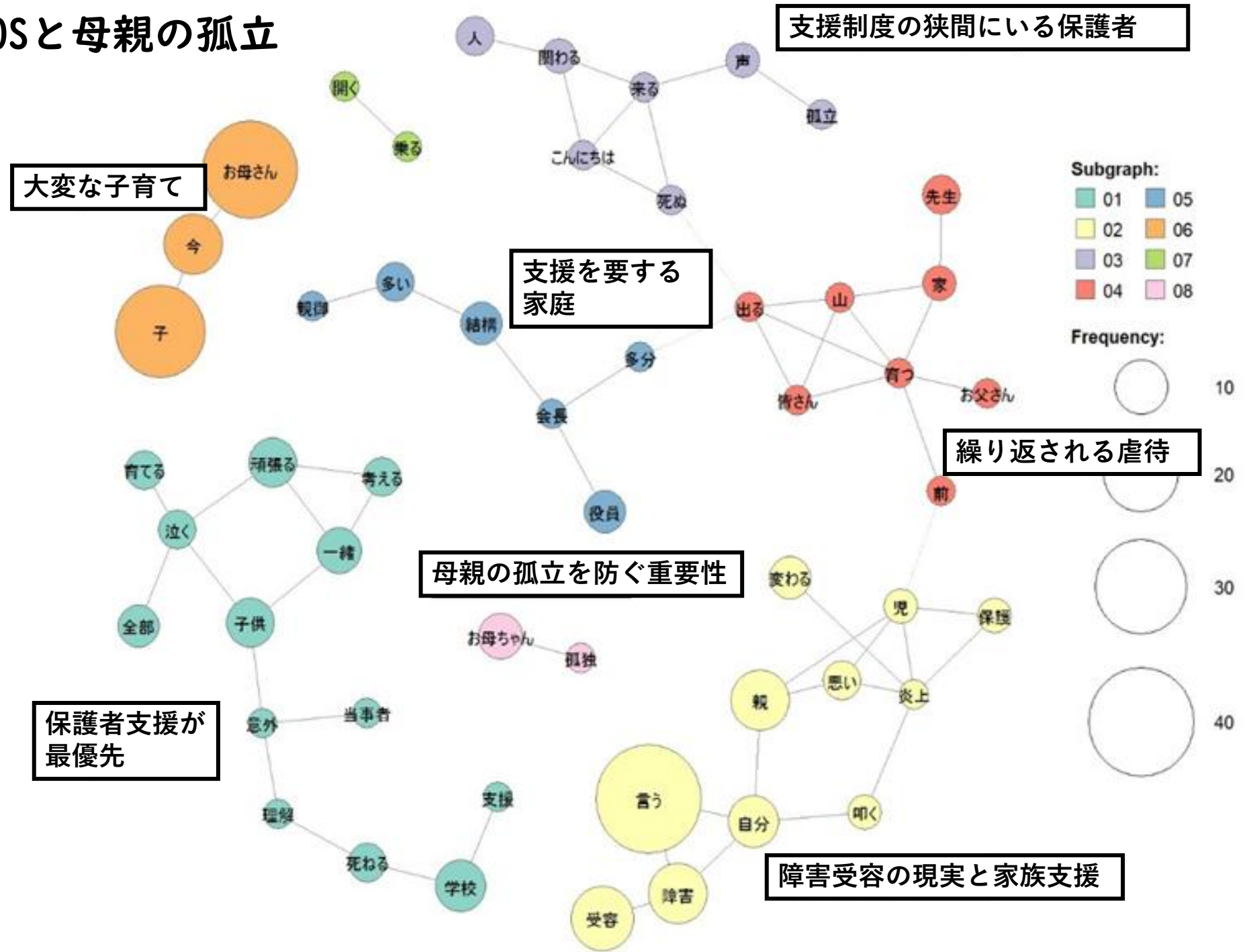
親として「きょうだい児」である長男への思い



生まれてきてくれた子どもへの思い



エ 家族のSOSと母親の孤立



エ 家族のSOSと母親の孤立

支援制度の狭間にいる保護者

「お母さんが愛情を持って育てているから、お母さんありがとうって言うと全部のお母さん泣くんですよ。育ててありがとうなんて言われたことないし、頑張ったなんて言われたことないって言って、皆さん泣くんですよ。」

大変な子育て



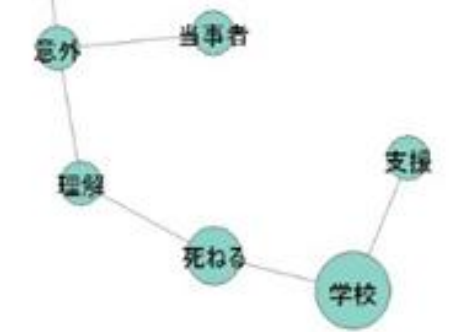
繰り返される虐待



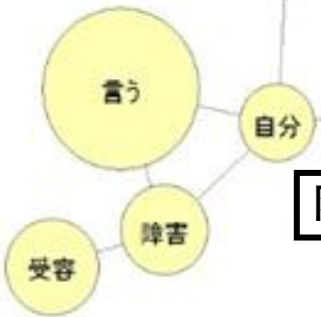
母親の孤立を防ぐ重要性



保護者支援が最優先



障害受容の現実と家族支援



オ 包括的性教育と 支援者への支援

当事者の親の経験の共有と学び

支援者への支援と社会全体の理解

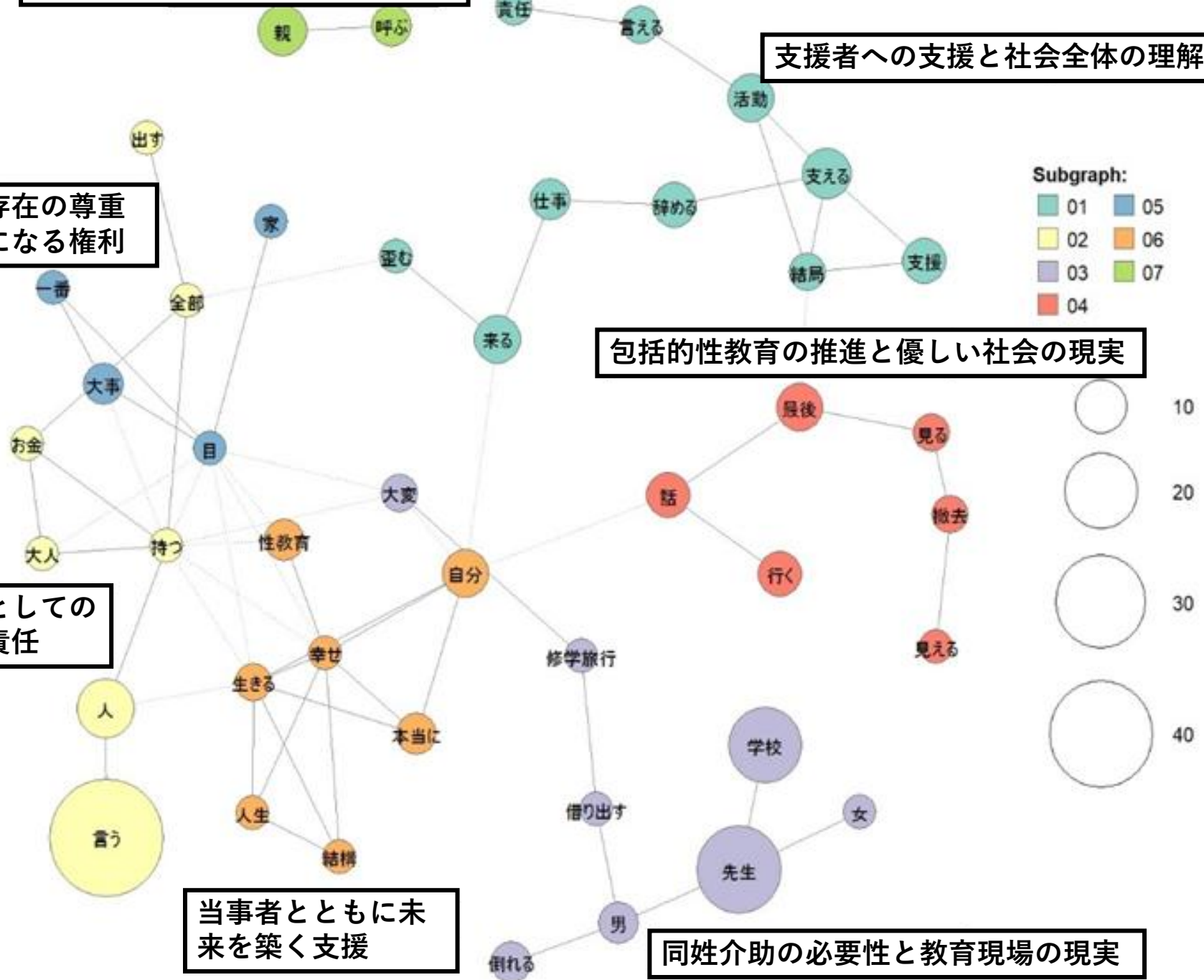
自分の存在の尊重
と幸せになる権利

包括的性教育の推進と優しい社会の現実

支援者としての
覚悟と責任

当事者とともに未
来を築く支援

同姓介助の必要性と教育現場の現実



オ 包括的性教育と 支援者への支援

当事者の親の経験の共有と学び

支援者への支援と社会全体の理解

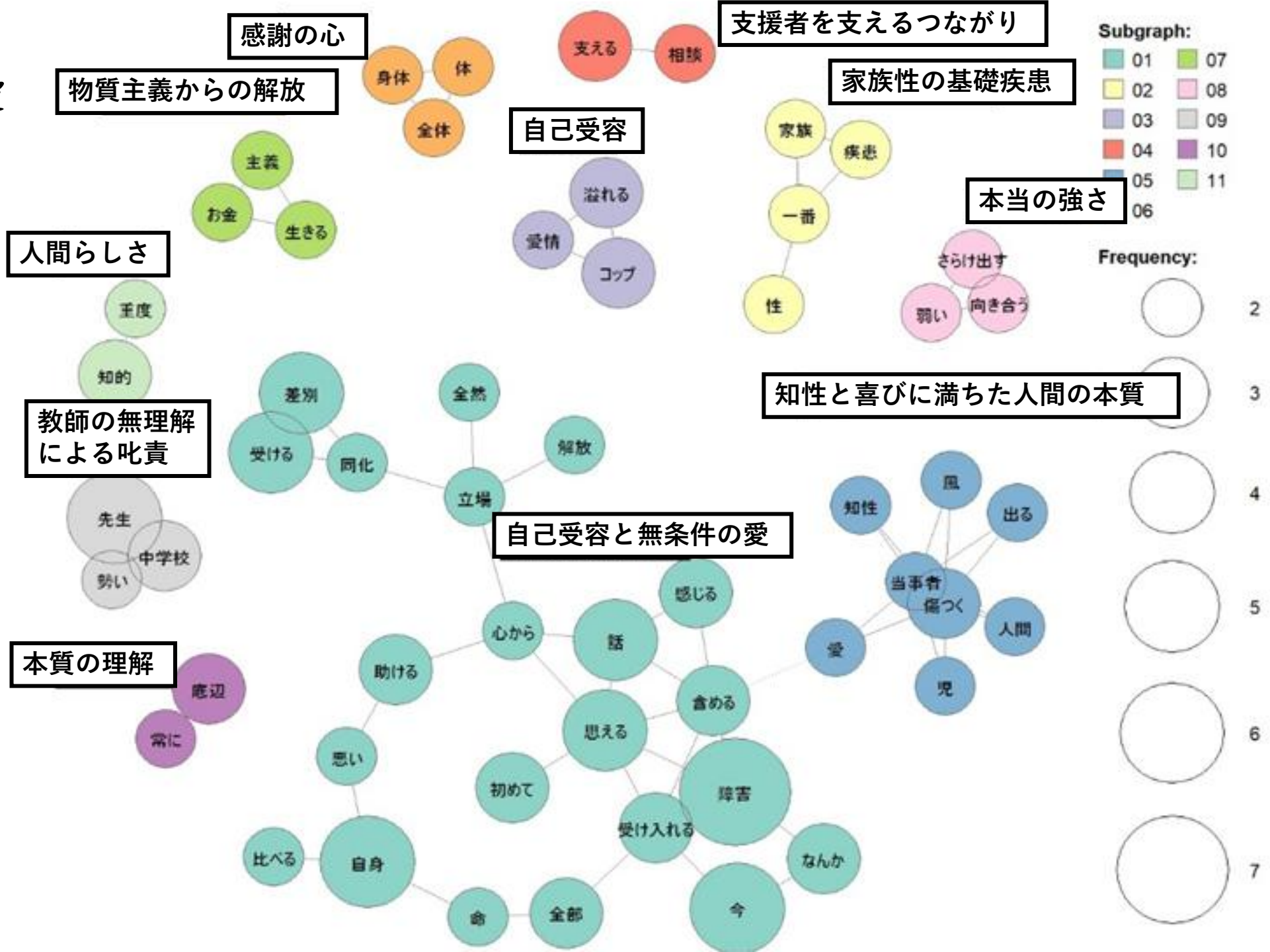
自分の存在の尊重
と幸せになる権利

「支援者を支える支援者っていないんですよ。辛いとき私は誰が支えてくれるの？ってなる。」

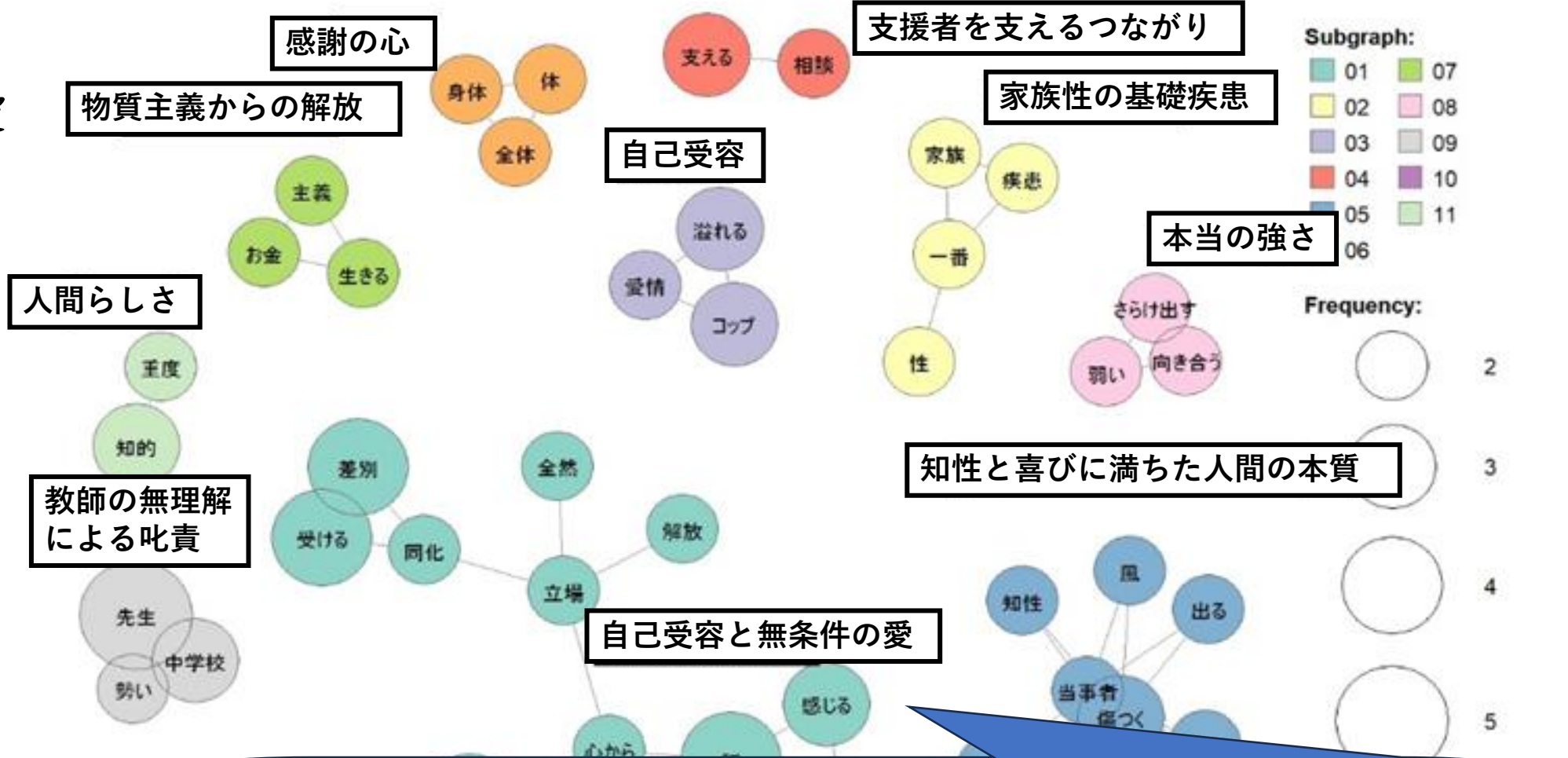
「相談員の友達みんな辞めていった。社会全体で考える問題だと心底思います。なので学校だけがどうこうではないと思います。」

「一人一人が大事なんだよって言って、生きてる人にはもちろん性器もついてるし、成長に伴ってそこが大人になっていくとね生殖機能も持つし、だからどういうふうになそこを向き合ったらいいか大事にしたらいいか、好きな人ができたらどうしたらいいかっていう学びを積み重ねていくだけで、大元はあなたが生きてここにいて、あなたは幸せになる権利を持っているからねっていうことを伝えていくのが根っこ。あなたが大事が一番だと思いますね。そこだけだと思いますね。それ以上でもそれ以下でもなくて。性のことって結構本当にその幸せに生きていく上で学んでなかったらね、自分の人生の中で進まないことが起こってくる。」

力 自己受容と無条件の愛



力 自己受容と無条件の愛



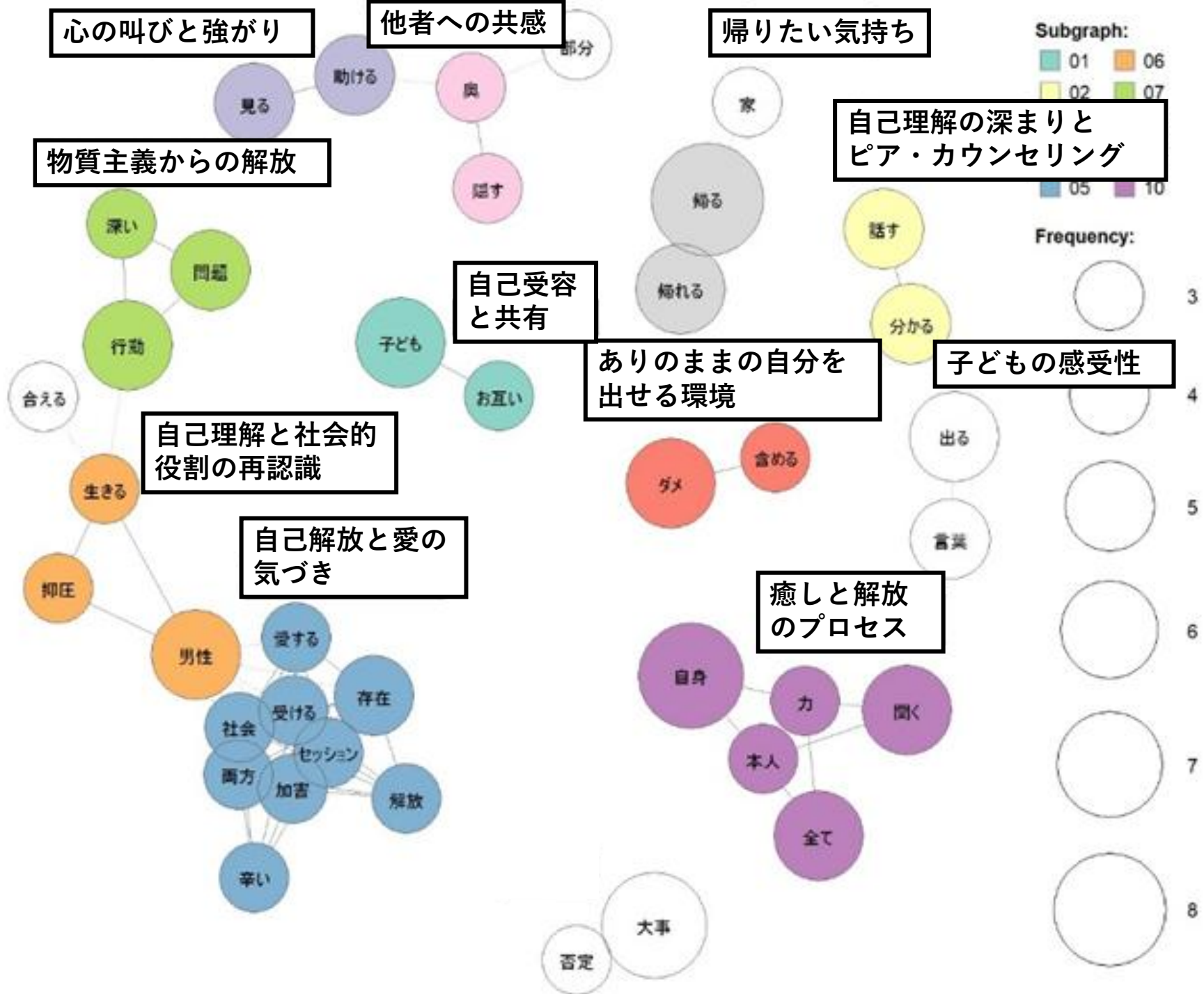
本質 「自分が私は私でいいんだって本当に心から思えたときに初めて人のことを助けられるように思うし、そういうふうになったら自分は

そもそも疲れないっていうか。」

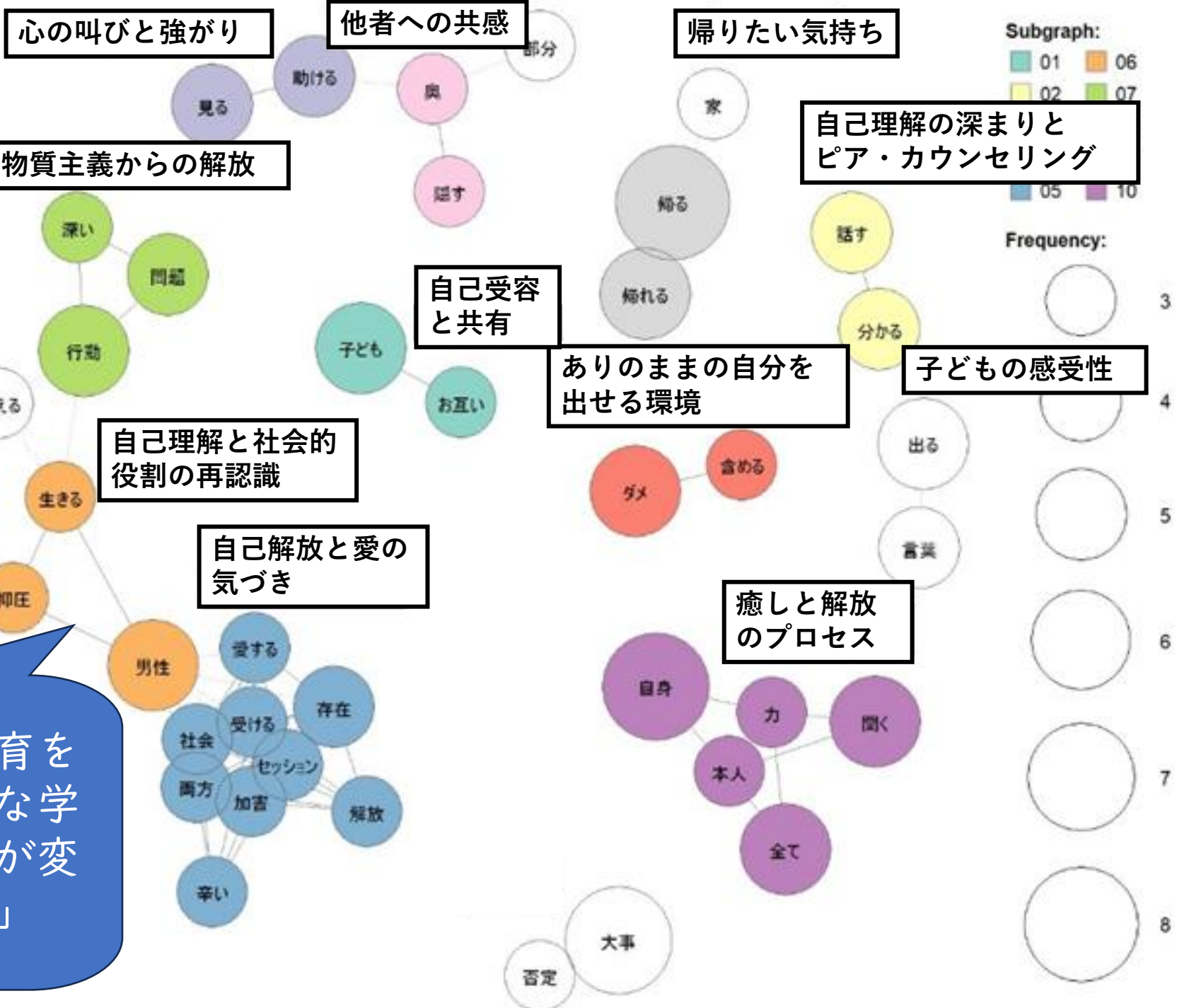
(中略)

「私の生き方をしなかったら自分の命を否定することになるし、今まで受けた差別も全て優生思想だと思うんですよ。」

キ 自己解放と共感の力



キ 自己解放と共感の力



「本当、包括的性教育を教員になる人もみんな学んでたら子供の見方が変わってくると思う。」

IV. 考察

研究から分かったこと

(支援者からの提案)

包括的性教育 の重要性

教師や支援者への包括的性教育の研修

個別ケアは
地域の協力

親に向けた包括的性教育の学習会

発信力のある
学校での開催

包括的性教育の推進

性被害に遭わ
ない環境作り

きょうだい見や支援者へのサポート

当事者の周辺
の人と繋がる

知的障害者と発達障害者の 性の問題の予防と性の健康増進

社会との連携

情報共有
学習会の開催
個別支援への対応
きょうだい児支援

家庭との連携

保護者への学習会
の開催

知的障害者と
発達障害者の
性の健康の増進

行動的な支援

教師への研修
カリキュラムの整備
包括的性教育の推進

制度的な支援

相談窓口との接続
出産時のサポート

参考文献

- APA (2022). Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition, Text Revision. American Psychiatric Publication Inc.
- 林真由美, 荒木田美香子 (2008). 知的障がい者の性に関する実態調査 保護者の性教育に対する意識および支援希望について. 日本公衆衛生雑誌, 55 (12), 830-836.
- 樋口耕一・中村康則・周景龍 (2022). 『動かして学ぶ! はじめてのテキストマイニングフリー・ソフトウェアを用いた自由記述の計量テキスト分析ー』ナカニシヤ出版
- 井上京子・菊地圭子・遠藤恵子 (2010). 特別支援学校の児童生徒の性に関する調査～教員を対象として～. 山形保健医療研究, 13, 83-94.
- 池田賢市 (2024). 『包括的性教育をはじめの前に読む本ー社会を変える性教育ー』新泉社
- 児嶋芳郎 (2015). 特別支援学校教員の養成段階における専門性向上に関する検討ー大学教員を対象としたアンケート調査の結果よりー. 健康科学と人間形成, 1, 5-12.
- 宮原春美・相川勝代 (2001). 知的障害児・者の家族のセクシュアリティに関する調査. 長崎大学医療技術短期大学部紀要, 14 (1), 61-64.
- 光武智美・吉村匠平・森田慶子 (2016). 発達障害児・者の家庭での性教育の必要性に関する調査研究. 学校保健研究, 58, 168-179.
- 宮口浩治 (2019). 『ケーキの切れない非行少年たち』新潮新書
- 小畑慎五・鶴岡尚子・古井克憲 (2021). 知的障害のある人は特別支援学校の性教育で何を学んだのかー卒業生を対象としたインタビュー調査からー. 和歌山大学教育学部紀要, 71, 11-18.
- UNESCO (2017). 『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』明石書店
- WAS (2014). Declaration of Sexual Rights.
https://www.worldsexualhealth.net/_files/ugd/793f03_779f193815894895b9d1480bde676c37.pdf?index=true (最終アクセス日2025年1月20日)